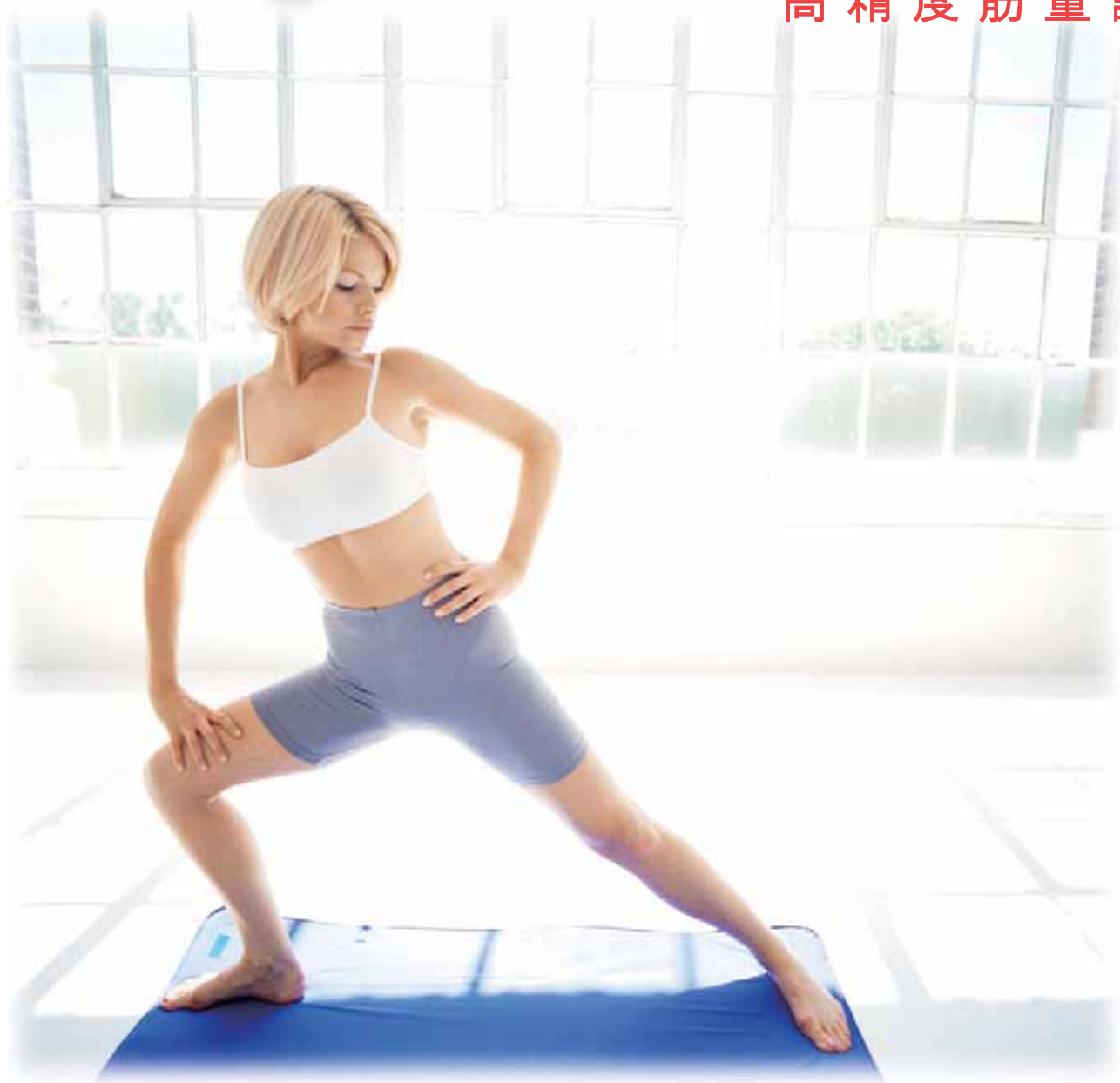


Body Management Tool

Physion MD

フィジオン

高精度筋量計



ウェルネスマネージメントの切り札！

Physion MD



筋肉は物語る・・・

第1章 筋肉量の高精度測定を実現

第2章 幅広いシーンで活躍できるコンパクト設計

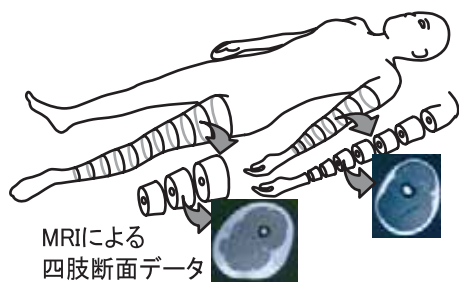
第3章 経営に役立つ高い訴求力

第4章 一目で分かるビジュアル表現

第1章 筋肉量の高精度測定を実現

MRIとの相関性0.9以上！

MRI法(核磁気共鳴画像診断法)

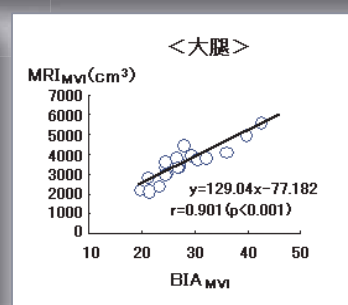
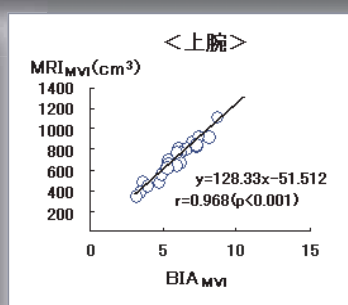
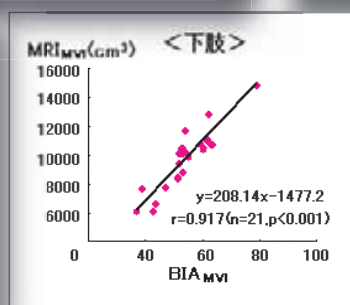
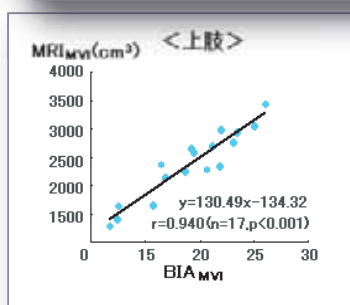
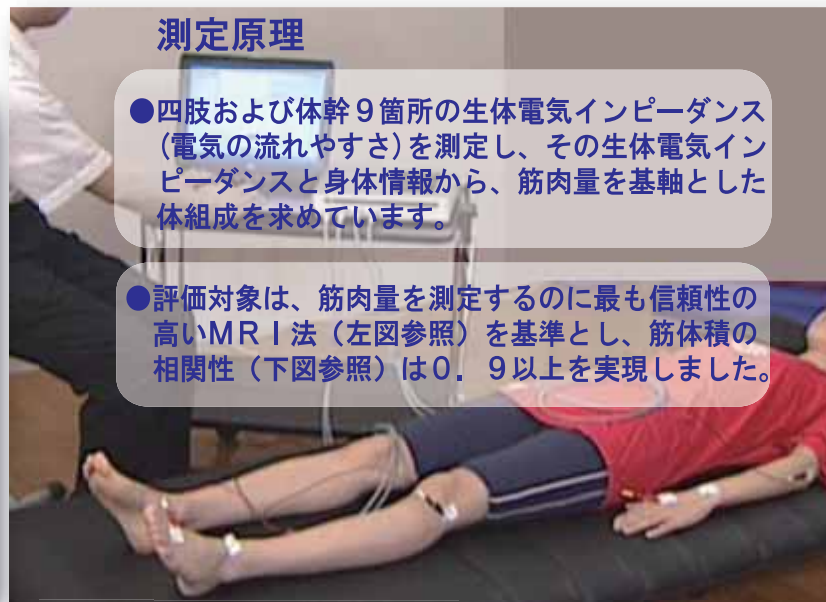


[MRI法とは]

磁石と電波を使い、人体のいろいろな方向からの断面を正確に画像化する検査方法

測定原理

- 四肢および体幹9箇所の生体電気インピーダンス(電気の流れやすさ)を測定し、その生体電気インピーダンスと身体情報から、筋肉量を基軸とした体組成を求めています。
- 評価対象は、筋肉量を測定するのに最も信頼性の高いMRI法(左図参照)を基準とし、筋体積の相関性(下図参照)は0.9以上を実現しました。



[資料提供元: 東京大学大学院 身体運動科学研究室]

第2章 幅広いシーンで活躍できるコンパクト設計

病院・大学

- ・リハビリテーション
- ・整形外科・健康センター
- ・メタボリックシンドローム
- ・健診センター
- ・アンチエイジング
- ・NST[※]
(※Nutrition Support Team: 栄養管理サポート)

介護

- ・介護予防(新予防給付)
- ・デイケア・デイサービス
- ・介護老人保健施設
- ・高齢者マンション

その他

- ・フィットネスクラブ
- ・実業団、大学、高校のスポーツ競技団体
- ・官公庁
- ・整骨院・接骨院
- ・エステティックサロン

第3章 経営に役立つ高い訴求力

法改正への柔軟な対応

施設稼働率アップ

地域貢献

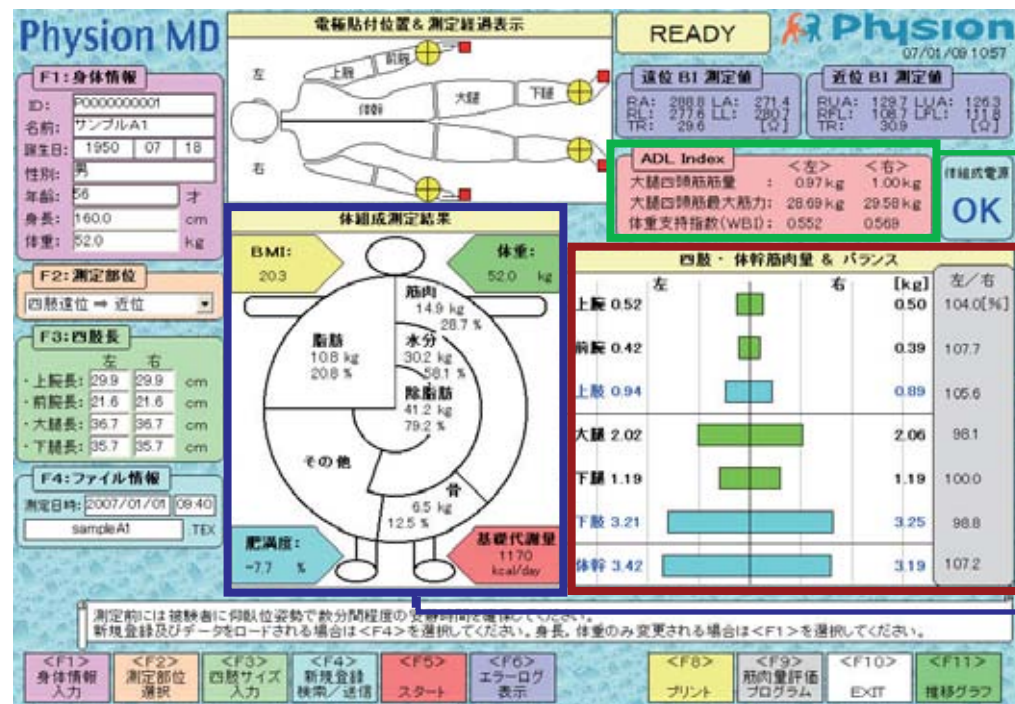
顧客満足度の向上

Evidence Based Medicine



第4章 一目でわかるビジュアル表現

【測定結果画面】



ADL Index

大腿四頭筋筋内量から最大筋力を表示
最大筋力 ÷ 体重 = WBI (体重支持指数)

四肢筋肉量とバランス

四肢筋肉量 (上腕、前腕、大腿、下腿)
体幹の筋肉量と左右バランスを表示

体組成情報

体組成 (筋肉量、体脂肪量、骨量
水分量、基礎代謝量) を表示

【評価結果画面】



表示は一般タイプ (男性)

標準値比較

測定結果と標準値
(同性、同年齢) を表示

日常生活レベル

自立歩行困難から、アスリート^{*1}
までの日常生活レベルを表示
^{*1}: 一般タイプのみ表示

体型マトリックス

筋肉率と体脂肪率から求められる体型
マトリックスにより体型タイプを表示



一般タイプ (女性)



シニアタイプ (男性)



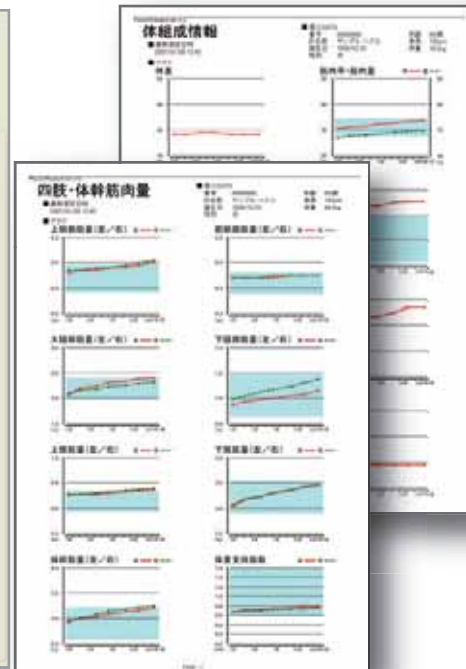
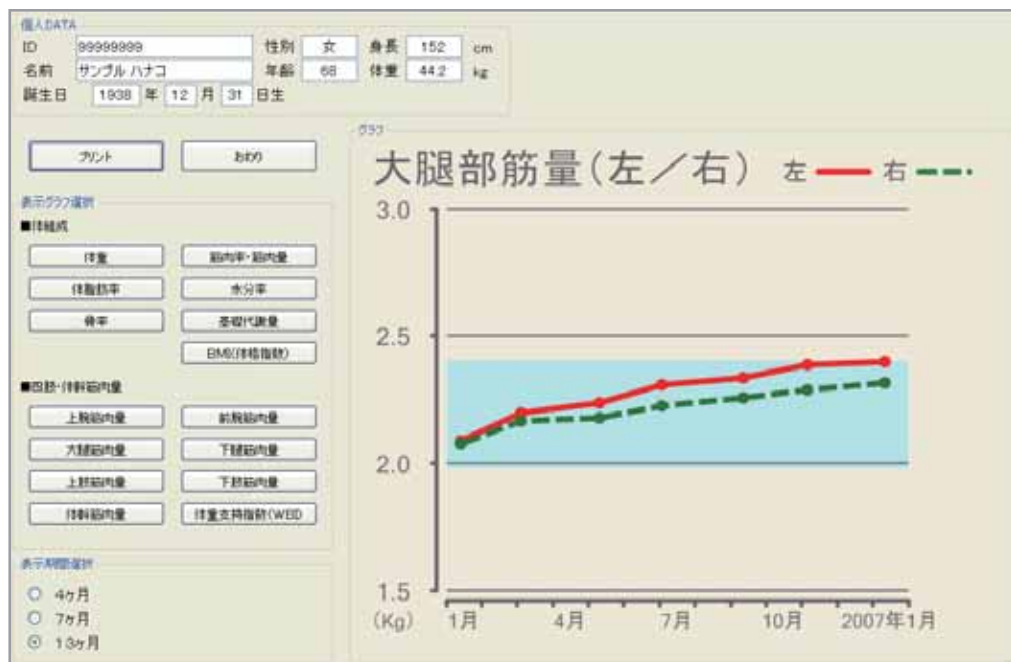
シニアタイプ (女性)

☆ イラストは測定者の性別に応じて自動的に切替ります。

☆ 一般タイプ/シニアタイプは手動で切替可能です。

【推移グラフ】（画面表示）

（印刷出力：A4 サイズ）



※各測定部位の推移状況を3／6／12ヶ月間でグラフ表示可能

【アドバイスシート】

（印刷出力：A4 サイズ）

全ての測定項目が
測定値と標準値の
組合せで出力されます

体組成測定結果

サンプル ハナコ 種

2007年01月09日 体組成測定結果について説明します。

1. 身体情報 身長: 152.0 cm 体重: 44.2 kg 年齢: 68 才

2. 体組成測定結果

測定項目	測定値	標準値	結果に対するコメント
基礎代謝量 目覚めている状態で必要とされる最小限のエネルギー代謝です。	1014kcal/day	996kcal/day	非常によい値です。この値を維持することを心がけて下さい。
BMI 体重(kg)÷(身長(m)) ² です。	19.1	18.5~25.0	標準的な値です。この値を維持することを心がけて下さい。
体脂肪率 体内の脂肪の比率です。	20.8%	15.0~30.0%	適正タイプ
筋肉率 骨格筋の比率です。	33.7%	27.5~34.5%	
水分率 体に蓄えられている水分の比率です。	57.9%	45.7~54.9%	非常によい値です。この値を維持することを心がけて下さい。
骨率 体内の骨の比率です。	14.7%	11.9~15.0%	標準的な値です。この値を維持することを心がけて下さい。

四肢・体幹筋量及び左右バランス

測定部位	筋肉量(kg)	標準値(kg)	左右バランス (標準: 95~105%)	結果に対するコメント
上腕	左: 0.40kg 右: 0.41kg	0.28~0.39	97.6%	左右共に標準以上、バランスは標準的です。左右バランスに注意しながら、トレーニングを行いましょ。
前腕	左: 0.35kg 右: 0.35kg	0.27~0.36	100.0%	左右筋肉量、バランス共に標準的です。左右バランスに注意しながら、トレーニングを行いましょ。
上肢	左: 0.75kg 右: 0.76kg	0.57~0.74	98.7%	左右共に標準以上、バランスは標準的です。左右バランスに注意しながら、トレーニングを行いましょ。
大腿	左: 2.40kg 右: 2.32kg	1.98~2.40	103.4%	左右筋肉量、バランス共に標準的です。左右バランスに注意しながら、トレーニングを行いましょ。
下腿	左: 1.06kg 右: 1.15kg	0.95~1.19	92.2%	左右共に標準ですが、バランスがずれています。左右バランスに注意しながら、左中心のトレーニングを行いましょ。
下肢	左: 3.46kg 右: 3.47kg	2.90~3.53	99.7%	左右筋肉量、バランス共に標準的です。左右バランスに注意しながら、トレーニングを行いましょ。
体幹	左: 3.21kg 右: 3.25kg	2.58~3.23	98.8%	左右共に標準以上、バランスは標準的です。左右バランスに注意しながら、左に重点を置いたトレーニングを行いましょ。

4. ADL Index (日常生活動作能力)

左右それぞれの大股四頭筋筋力の体重比(WB I: 体重支持指数)を測定し日常生活動作能力を判定します。

WB I 左: 0.776 右: 0.750 判定: 標準的な値です。

この値の増量を目指してトレーニングを続けて下さい。

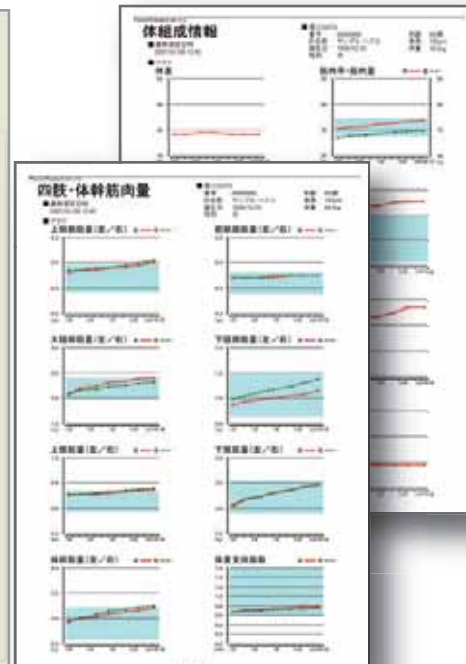
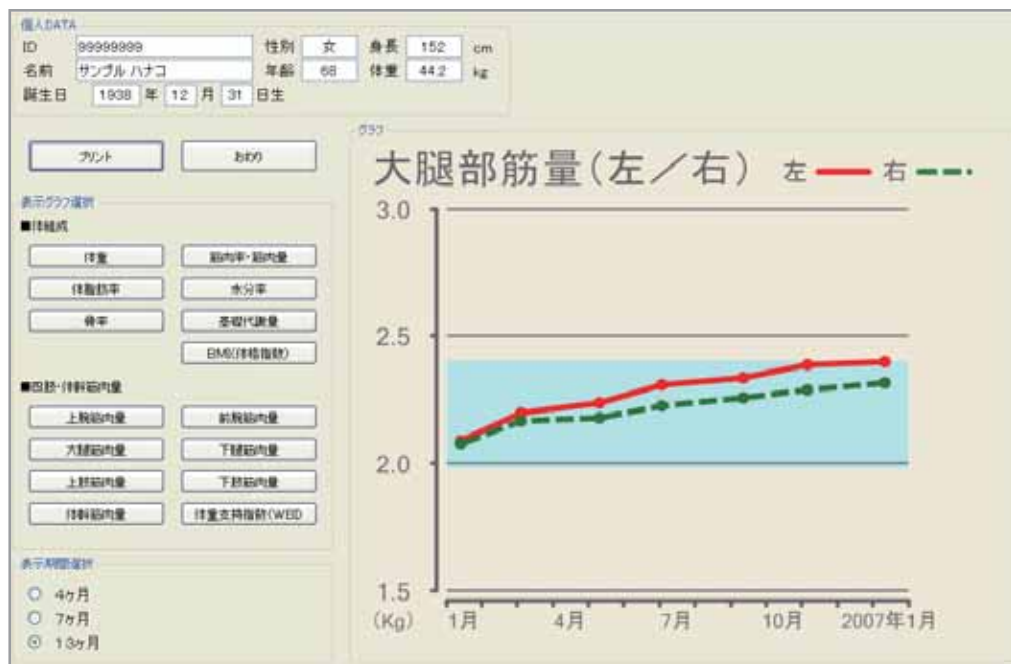
(注) 標準値、判定値は、株式会社フィジオンが独自で考えたもので、予告なしに変更することがあります。

PHYSION

コメント欄は設定によって
空欄での出力も可能です
(手書きでの自由記述に便利です)

【推移グラフ】（画面表示）

（印刷出力：A4 サイズ）



※各測定部位の推移状況を3／6／12ヶ月間でグラフ表示可能

【アドバイスシート】

（印刷出力：A4 サイズ）

全ての測定項目が
測定値と標準値の
組合せで出力されます

体組成測定結果

サンプル ハナコ 種

2007年01月09日 体組成測定結果について説明します。

1. 身体情報 身長: 152.0 cm 体重: 44.2 kg 年齢: 68 才

2. 体組成測定結果

測定項目	測定値	標準値	結果に対するコメント
基礎代謝量 目覚めている状態で必要とされる最小限のエネルギー代謝です。	1014kcal/day	996kcal/day	非常によい値です。この値を維持することを心がけて下さい。
BMI 体重(kg)÷(身長(m)) ² です。	19.1	18.5~25.0	標準的な値です。この値を維持することを心がけて下さい。
体脂肪率 体内の脂肪の比率です。	20.8%	15.0~30.0%	適正タイプ
筋肉率 骨格筋の比率です。	33.7%	27.5~34.5%	
水分率 体に蓄えられている水分の比率です。	57.9%	45.7~54.9%	非常によい値です。この値を維持することを心がけて下さい。
骨率 体内の骨の比率です。	14.7%	11.9~15.0%	標準的な値です。この値を維持することを心がけて下さい。

四肢・体幹筋量及び左右バランス

測定部位	筋肉量(kg)	標準値(kg)	左右バランス (標準: 95~105%)	結果に対するコメント
上腕	左: 0.40kg 右: 0.41kg	0.28~0.39	97.6%	左右共に標準以上、バランスは標準的です。左右バランスに注意しながら、トレーニングを行いましょ。
前腕	左: 0.35kg 右: 0.35kg	0.27~0.36	100.0%	左右筋肉量、バランス共に標準的です。左右バランスに注意しながら、トレーニングを行いましょ。
上肢	左: 0.75kg 右: 0.76kg	0.57~0.74	98.7%	左右共に標準以上、バランスは標準的です。左右バランスに注意しながら、トレーニングを行いましょ。
大腿	左: 2.40kg 右: 2.32kg	1.98~2.40	103.4%	左右筋肉量、バランス共に標準的です。左右バランスに注意しながら、トレーニングを行いましょ。
下腿	左: 1.06kg 右: 1.15kg	0.95~1.19	92.2%	左右共に標準ですが、バランスがずれています。左右バランスに注意しながら、左中心のトレーニングを行いましょ。
下肢	左: 3.46kg 右: 3.47kg	2.90~3.53	99.7%	左右筋肉量、バランス共に標準的です。左右バランスに注意しながら、トレーニングを行いましょ。
体幹	左: 3.21kg 右: 3.25kg	2.58~3.23	98.8%	左右共に標準以上、バランスは標準的です。左右バランスに注意しながら、左に重点を置いたトレーニングを行いましょ。

4. ADL Index (日常生活動作能力)

左右それぞれの大腿四頭筋筋力の体重比(WBI: 体重支持指数)を測定し日常生活動作能力を判定します。

WBI 左: 0.776 右: 0.750 判定: 標準的な値です。

この値の増量を目指してトレーニングを続けて下さい。

(注) 標準値、判定値は、株式会社フィジオンが独自で考えたもので、予告なしに変更することがあります。

PHYSION

コメント欄は設定によって
空欄での出力も可能です
(手書きでの自由記述に便利です)

仕様

装置名称	生体電気インピーダンス方式体組成計
型式	Physion MD
測定方式	単周波生体電気インピーダンス方式
誘導電極方式	仰臥位4肢誘導12電極法
入力項目	身長・体重・生年月日・性別・左右上腕長・左右前腕長・左右大腿長・左右下腿長
測定項目	【全身の体組成解析】 体内筋量・体内骨量・体内除脂肪量・体脂肪率・体内水分量・肥満度・BMI・基礎代謝量 【分節の体組成解析】 右腕：上腕筋量、前腕筋量、右上肢筋量 左腕：上腕筋量、前腕筋量、左上肢筋量 右脚：大腿筋量、下腿筋量、右下肢筋量 左脚：大腿筋量、下腿筋量、左下肢筋量 体幹：右体幹筋量、左体幹筋量、 総上肢筋量、総下肢筋量 【身体バランス解析】 筋量バランス：上肢左右筋量比、下肢左右筋量比、上肢下肢筋量比、体型分類指標 【ADL指標】 大腿四頭筋筋量、大腿四頭筋最大筋力、体重支持指数(WBI)
インピーダンス測定性能	測定周波数：50kHz 測定電流：500 μ Arms 測定範囲：10～1500 Ω 測定精度： $\pm 1\% \pm 0.5\Omega$ (50～1000 Ω)、 $\pm 2\% \pm 0.5\Omega$ (その他の範囲) 測定表示分解能：0.1 Ω
電源	単3電池4本で駆動（最大5時間連続測定可能）
外形・寸法(W×D×H) (mm)	本体：270 × 232 × 65
重量(kg)	本体：2.4
測定環境	温度：15～30℃ 湿度：30～85%RH（結露無きこと）
構成部品	本体、パソコン、パソコン関連付属品、電極ケーブル、単3形充電電池、充電器、取扱説明書

安全性について

本機は如何なる場合にも、感電などの事故がないように十分な安全対策が施されています。しかしながら、次のような医用電子機器と併用すると事故に結びつく可能性がありますので絶対にしないで下さい。

- ペースメーカー等の体内埋め込み型医用電子機器
- 人工肺等の生命維持用医用電子機器
- 心電計等の装着型医用電子機器

使用上の注意

本装置は、スポーツ選手の指導及び生体組織の組成の基礎研究用として開発したものであり、医療用としての臨床評価と医療機器としての認可を得ていません。 測定結果の取扱いにはご注意下さい。

正確な測定をしていただくために、次のようなときには測定を避けて下さい。

- 激しい運動の直後
- アルコールを多飲した直後
- サウナや入浴の直後
- 食後及び大量の水分摂取後2時間以内
- 起床後30分以内
- 測定室温と大きく異なる(温度差10℃以上)環境から入室直後(室温に体が順応するまでに15～30分程度必要です。)
- 長時間の立位姿勢で、下肢に浮腫み(浮腫)がある場合
- 病気等による発熱がある場合
- 排便、排尿前(測定前に済ますようにご指導下さい)

- 記載の製品名及び会社名等は、それぞれ各社の商標または登録商標です。●本記載内容は、予告なく変更する場合があります。

オプションソフトについて

- 介護用・一般用の運動プログラムを別途用意しております。



本 社 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-9
Tel (03) 3518-8670 Fax (03) 3518-8671
URL: <http://www.nippon-shooter.co.jp>

開発元 株式会社フィジオン
〒600-8106 京都市下京区五条通烏丸西入醍醐町284
YMC烏丸五条ビル8F

お問い合わせは